

後 記

著者可児農学士は京都大学理学部木曾生物研究所を拠りどころとして、木曾川水系特に王滝川の水棲昆虫を研究され、少壯有為の学究として深く将来を囑望されたのであるが、惜しくも太平洋戦争の犠牲とられた。

その未完成の遺稿が氏の学友森下正明博士によつて整理されたのであるが、これは溪流昆虫の生態学的研究として従来かつて観られなかつた出色のものと考えられるので、本会は関係方面の協力を得てこれが出版に当ることとなつたのである。幸い王滝村長松原重良氏の好意により出版の援助を得られることとなり、その公刊をみることは本会の深くよろこびとするところである。

此の書が単に一地方の水棲昆虫誌としてのみならず、この方面の研究に志す諸氏の参考となることを信じ、広く江湖に推奨するものである。

終りに本書の校訂に当られ、且序文を賜つた京都大学大津臨湖実験所長上野益三博士及び出版にあたり斡旋の勞をとられた京都大学木曾生物研究所員横内齋氏に深く感謝の意を表するものである。

昭和27年2月1日

社団法人 青木廣助
木曾教育会長

昭和27年2月28日 印刷

昭和27年3月5日 発行

木曾王滝川昆蟲誌

【非賣品】

著 者 可 児 藤 吉

長野縣西筑摩郡福島町

發行者 木 曾 教 育 会

代表者 青 木 廣 助

長野縣西筑摩郡諏訪村306ノ1

讀書印刷株式會社

印刷者 久 保 田 長 寿